

研修実施報告書

研修名

地域で共に生活する仲間・互いの人生を豊かにする会 略して共豊

法人名

特定非営利活動法人 ねこやなぎ倶楽部

開催年月日

①2025年10月12日(日)、②2025年11月8日(土)、③2026年1月24日(土)

開催場所

①リブラ若狭(若狭町)、②エコール神戸(神戸市)、③小浜市健康管理センター(小浜市)

研修の目的

障がい児者のコミュニティ構築に寄与するために、「世代を超えた学びの場の構築」と「余暇活動を通じた交流の場の構築」を目指す。①障がい理解への学びを深める。地域の方も障がい特性を学び、サポーターとして活躍していただけるようにする。②先進地視察を通して、若狭地域では得られない知見や考え方を学ぶ。③同じユニフォームを着て、ともに汗をかいて、ともに話し合える時間を持ち、共生の理解を深める。

研修の内容

①「自閉症の特性を学び理解しともに生きる」と題しての講演会を福井県立大学の清水先生をお招きして開催し、a 障害の理解、b 障害者の社会参加の実践事例を聞いた。講演会終了後に保護者や本人との個別相談会を開いた。
②学びの場の創設者のお話（設立時の苦労等）を聞き、施設及び活動等の見学を行なった。また、様々な制度の活用で地域の特性に合った取り組みができる事を教えて貰った。
③地域のスポーツセンターのトレーナーを招聘し、また音楽専門家による生演奏に合わせて皆でダンスをしたり体を動かしたりした。

研修の成果（今後地域に活かされる点を必ず記載）

①基本的特性が理解できた。自閉症のことがよくわかった。自閉症の特性を知ること、関わり方について勉強できた。等々、関わり方へのヒントが得られたなどの感想が多くあり、地域の方が身近にいる自閉症の子供や大人についての理解が深まり、その後、関わりを持つという気持ちが育まれたようであった。また当事者からは、自分の特性について理解を得ているという安心感を持てたという意見もいくつかあった。知ること、理解し合うことで、共生しながら、幸福を分かち合える社会にできるような気がするという意見があり、多くの方がこのように考えてくださっているのではないかと思われる。今後もこのように地域住民と共に同じ目線で学ぶことが大事で、研修会や相談会を今後も望む声も多く、地域住民と共にしたことが地域全体の障害理解につながると感じている。

②設立者の方の熱い思いに触れることができ、夢が持てた。自立訓練と就労 B や就労移行支援を組み合わせて、“大学”のような場所を作るなど、既存の仕組みを利用しながら新しい福祉の仕組みを作ることができると知り、とても勉強になった。・こんな学びの場が若狭にもほしいなければ作らばよいという流れにできないかと思った。などその後につながる動きを作りたいという意見が多く聞け、その組織づくりができないかという話にもなり、希望が膨らんでいる。

③予想よりも多くの参加者があり、冬季に体を動かせる場のニーズが高いことがあらためてわかった。参加者からは、運動不足解消になった、若い人々が多かったので楽しかった、いろんな人と運動できた、みんなが和気あいあいと楽しめ情報交換もできてよかった、などという声が寄せられ、運動するだけでなく、地域の年齢層も広く多様な人と交流することができ、共に楽しむ機会にもなったと感じている。次回もこのような企画があれば参加したいという声が大半で、また今後も継続して実施していきたいと考えている。

研修の参加者

① 講演会「自閉症の特性を学び理解しともに生きる」（講師：清水教授）

【全体人数】 52 人

【当該法人の参加人数】 10 人

【当該法人以外の参加人数】 42 人

② 「エコール神戸」視察

【全体人数】 13 人

【当該法人の参加人数】 3 人

【当該法人以外の参加人数】 10 人

③ 運動研修

【全体人数】 58 人

【当該法人の参加人数】 4 人

【当該法人以外の参加人数】 54 人